

学校通信



喜多見



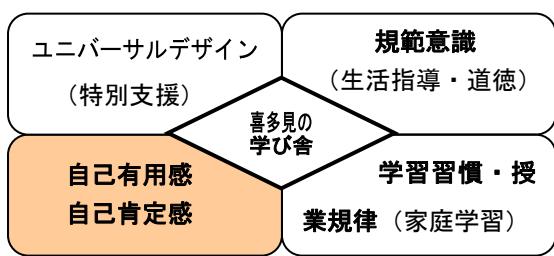
No.5 令和7年9月29日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail: dai131@setagaya.ed.jp <http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/>

「自己有用感」と「規範意識」の関係 校長 紺谷 祥一

6月号以来、「喜多見の学び舎」で私たち教職員が向き合っている研修領域（下図）について話題としています。先月号では、「規範意識」と「個性の尊重」の両立」という大切なミッションについてお伝えしました。下の4つの領域は、一小一中の関係同様によく絡み合ったものと感じます。今号では、「自己有用感」・「自己肯定感」について皆さんと一緒に考えたいのですが、この領域もまた「規範意識」との深い関係を感じます。



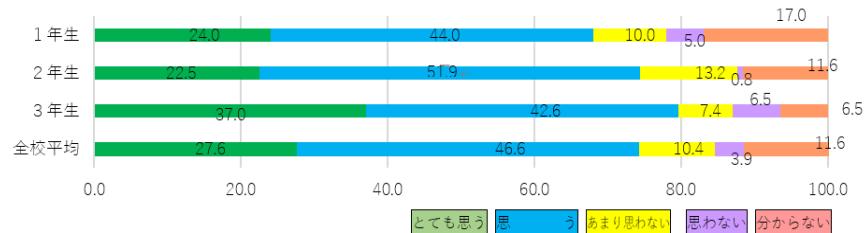
先ず、「自己有用感」と「自己肯定感」は、一見似ているようですが、根本的には異なる心理的な概念です。「自己有用感」は、自分が他者や社会にとって役に立っていると感じ、嬉しいと思えたり、必要とされていることに安心したりできる感情を指すとされます。つまり、他者との交流の中で育まれる実感であり、役に立つ経験や誰かに感謝されることで高まり、満たされる幸福感の一つです。一方、「自己肯定感」は、自分の存在そのものを肯定的に受け入れる

感情を指し、「自分はこれでいい」とか、「自分には価値がある」と感じることのできる、“心の土台”的なものとよく定義されます。いずれにせよ、どちらかが欠けてしまうと、無力感や自己否定につながったり、新しいことに挑戦しようとする意欲をそいだり、また、失敗や挫折から立ち直れなかったりするなどします。特に中学生の段階では、その両方を一定のレベルでバランスよく育てることが大切です。自尊感情だけが高く、「自己有用感」が低ければ、「自分はこんなに××なのに、ちっとも評価されない」といった感情が芽生え、やがて不満や卑屈な感情へと繋がります。溜まったストレスがひとたび爆発して他者に向けられてしまうと、独りよがりで攻撃的な言動になり、「規範意識」が問われてしまいます。しっかりと「自己有用感」が獲得されていれば、少々の理不尽や不満があってもそうした感情は抑えることができるもの。自分を受け入れ、ちゃんと認めてくれる身の周り（＝社会）は、自分にとって大切であり、良好な関係を維持したくなるものです。このことから、「自己有用感」と「規範意識」は深く結びついていると感じています。

右は学校関係者評価における生徒の回答です。着任以来、毎年追っている数値です。学年が上がるに連れて肯定的な回答が増えていますが、一方で否定的な回答や「分からぬ」との回答がいつも一定数いるのを申し訳なく感じます。誰にも必ず「よいところ」があるのに、それを自覚させられないのは残念でなりません。

R6 学校関係者評価（独自質問項目より）

自分には、「よいところ」がある。



中学校の使命の一つには、中学生としての知識・技能・態度を深化させ、人としての基礎を築くことがあります。喜多見中では、引き続き学力や体力の向上をはじめ、自立と責任など社会性の育成や自ら進路を切り拓くことのできる力の育成に注力します。また、今学期も合唱コンクールなど、自分を試せる場面を多く設定しています。職員室では、「キャストを固定しない！」を合言葉に、できる限り多くの子どもたちに様々な役割を果たさせ成功体験を積ませる方針を再度確認しています。おやじの会様や町会等、地域からのボランティア活動誘致もコロナ禍以前の様態に戻りつつあります。学校ではそれらを積極的に受け入れ、そうした活動への参加を奨励しています。各ご家庭におかれましても、他者との比較に寄らない、「子どもの存在そのもの」を肯定的に認めながら、一定の自己肯定感の獲得を支援いただきたいと思います。そして、挑戦と体験をする子どもたちの背中を学校とともに押して欲しいと思っています。さまざまな実体験を通じて、子どもたち自らが「自己有用感」を体得し、同時に高い規範意識も身に付けられるよう、引き続き連携とご協力をお願いします。

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（岩原實之助）

2学期初日の始業式では、1年生全員が元気に登校し、出席率100%を達成しました。夏休みを充実して過ごし、すがすがしい表情を見せる生徒もいれば、「また学校が始まるなあ」とあまり浮かない表情をしている生徒の姿も見られましたが、全員の顔をそろって見ることができ、とてもうれしく思いました。



始業式や1週目の授業の様子からは、夏休みを経てどこか一皮むけ、よりたくましくなった1年生の姿を感じています。2学期は1年の中で最も長い学期であり、学習面でも生活面でも大きく成長できる学期です。まずは、中間考査に向けて、夏休み前の学習を振り返りながら、着実に力をつけていって欲しいと思います。

また、合唱コンクールも控えています。運動会以来となる学級単位での大きな行事であり、練習の段階から一致団結して取り組む姿に大きな期待を寄せています。仲間と力を合わせて一つの目標に向かう経験は、必ず生徒一人一人の成長につながるはずです。

2学期は長い分、時に大変に感じることもあるかもしれません、クラスメイトと励まし合いながら、1学年みんなで充実した2学期をつくっていって欲しいと思います。（写真：9月4日「大蔵大根の種まき」から）

2年生の様子から（田村健）

2学期初日から、ほとんどの生徒が休むことなく登校してくれています。1学期同様に、友達と仲良く関わりながら元気に学校生活を送る姿が見え、とてもうれしい気持ちで私も過ごしています。



さて、これまでの2学期は慌ただしい日々が続きました。

一つ目は、中間考査。今学期から「スタバ（スタディバトルフィールド）」という自習室を昼休みに開放しました。学習に対する意識を学年で高め、力を入れて学習に取り組む生徒も増えました。

二つ目は、職場体験。これから将来に向けて貴重な経験ができました。今まで知らなかった世界での体験でしたが、緊張しながらも自分にできることを考え、必死に行動する姿がとても印象的でした。

三つ目は、生徒会役員選挙。今年度は、2年生から多くの生徒が立候補しました。喜多見中をより良い学校にしたいという思いを言葉と行動で表現する姿は、これから喜多見中の中心を担うにふさわしい姿でした。

「艱難汝を玉にす」これからも、様々な苦労や困難を乗り越え、大きく成長してほしいと願っています。

3年生の様子から（富樫有里子）



「夏を制する者は、受験を制す！」という言葉で夏休みをスタートした3年生。受験生として迎えた夏休みは、今までとは違い大変なこともあったのではないかでしょうか。2学期が始まり、授業の様子を先生方に聞くと「落ち着いて授業を受けています」「1学期よりも受験生としての意識が出てきています」とのこと。みんなが全力で進路選択に向き合えるようこれからも微力ながらサポートしていくたいと思っています。

さて2学期に入り、みんなが待ちに待っていた修学旅行の準備が始まりました。今回の修学旅行のスローガンは「楽学全力～我が修学旅行に一片の悔いなし～」です。事前学習やルール検討は1学期のうちに始まっていましたが、2学期は行動班の発表、コース検討、宿舎班決めなど盛りだくさん。スローガンにあるように楽しく学んで、すべてのことに全力で取り組んでほしいと思います。全員が後悔することのない最高の修学旅行にしましょう！（写真：高野実習生の公民の授業に真剣に取組む3年生）

E組の様子から（細井俊吾）

2学期、早くも4週間が過ぎました。E組ではそれぞれが自分なりのスタートを切れたのではないかと思っています。夏休み期間ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございます。この数週間の間に様々な頑張りを観ることができました。計画的に学校生活や授業に取り組み始めている人や取り掛かりたいけれど気持ちが乗らずに葛藤している様子の人もいます。中間テストも終え、大きな行事を前に再度クラスの雰囲気づくりを大切にしています。頑張りの一例を紹介します。E組から生徒会選挙に参加した人がいました。役員候補として1年生が立候補し、2年生が応援演説を務めました。2人とも準備や練習を重ね選挙当日、立派に演説を行いました。（写真：力強く語る2人）



今後、1学年は大蔵大根を通じ食物の大切さや労作の大変さの体験、2学年は職場体験があります。各実体験でしか学べない裏側をぜひ味わってきてください。3学年は修学旅行に向けて見学先や細かな計画をたてていきます。今学期も貴重な経験ができそうですね。2学期は『今できること』『今やっておくべきこと』を見つけて、たくさんの方に「できた！」を増やしていきましょう！



今月号の「わたしのきたみち」は、小林〇〇さん（R. 6年度卒）からのメッセージ。桜町高校で野球部のマネージャーとして活動する小林先輩。写真は先日、卒業学級の担任である齋藤先生に会いに来てくれた際に撮ったもの。笑顔からも充実した高校生活を送っている模様が伝わります！

私は小学生の頃に野球を習っていて、中学生のときはバドミントン部に所属していました。木村先生や小池先生、小柴先生、桐山先生など、たくさんの先生方や仲間に支えてもらい、協力しながら部活動に励むことができました。その経験は今でも力になっています。そして高校では野球部のマネージャーとして活動しています。ノック補助やマシンの玉入れ、試合ではスコアなどを書いたり、選手が全力でプレーできるようにサポートしたりするのが私の役割です。初めは慣れないことが多くあり戸惑ってしまうことも多々ありましたが、先輩の行動などを見て自分もしっかり周りを見て行動できるようになりたいと思い、日々頑張っています。

中学生のみなさんには、今のうちにしかできないことを全力で楽しんでほしいと思います。三年生は受験も近づいてきて、不安や分からぬことが増える時期だと思いますが、そんなときはすぐに先生や友達に相談することが大切です。私も受験が近づくにつれ不安と緊張が増えていましたが、友達や先生、親などたくさんの人から励ましてもらい前に進むことができました。残りの中学校生活を思い切り楽しみつつ、少しずつ勉強の習慣もつけていけるといいと思います。私自身、中学生の頃からもっと勉強をしていれば良かったなあと感じています…。近くにいる人と喜びや悩みを分かち合いながら、互いに成長していくといいと思います。残りの中学校生活を大切にしながら、自分の可能性を信じて頑張ってください。応援しています！



わたしの授業

今月の「わたしの授業」は、渡邊訓子先生（1B担任、国語科、ボランティア部顧問、本校1年目）の授業紹介です。ボランティア部の顧問としても精力的な渡邊先生。今回は、授業をつくる際の思いや授業における教師の役割について、熱く語ってくれました。

すべての生徒に「生まれてきてよかった！」と思ってもらいたい。そう思いながら、国語の教師という仕事をしています。では「生きる喜び」とはどんなときに感じるのか？自分の考え方や思いを大切な人に理解してもらい、心が通じ合えたら「うれしい」って思いますよね。また、他者と協力しながら一人ではできない、大きなことが成し遂げられたら、身体中にみなぎる達成感や充実感を感じられると思います。生徒たちが幸せになるために、授業で学んだ知識や力が、どんな風に、どんな場面で、生かせるだろうか。そんなことを考えながら、毎日授業を作っています。また、私自身「ファシリテーター」としての役割を意識し、授業に取り組んでいます。ファシリテーターとは、活動を良いゴールに導く進行役、調整役のことです。これから教員の役割は、従来の「教える」ということに重きをおいたものではなく、生徒が学ぶための「環境の作り手」としての役割にシフトしていると考えます。ファシリテーターは、学習者の知的好奇心を尊重し、その学びを現実社会と結び付け、実社会での課題解決力を育む場を提供し、学習者の学びの定着を図っています。ファシリテーターに必要な力はかなり高度で、一朝一夕に身に付けられるものではないと考えます。

よいファシリテーターになるためには、教員側も意識して、知識や経験を積まねばなりません。時代が変われば、教師に求められるものも変わってきます。私は、教師でありつづけることの難しさを感じながら、それでも常に「良い教師になりたい」と思い、もがいています。教師も学び続けているのです。「何を学びたいか」は「社会とどのように関わりたいか」とつながっており、「自分はどう生きていきたいか」を考えるきっかけになります。生徒の皆さんも、自分自身のために、生涯、学び続けてほしいと思います。



吹奏楽部 第65回東京都中学生吹奏楽コンクール 銀賞！！

7月31日（木）、練馬文化センターにて東京都中学生吹奏楽コンクールが実施されました。一人ひとりの音を合わせて大きな力にするその様は、まさに喜多見中の象徴のよう。日々真剣に練習に打ち込み、美しい音を校舎内外に響かせる部員の姿は、周囲から一目を置かれています。下は部長の板庇祐さん（3A）の報告です。

今年のコンクールでは4月から計画的に練習を重ね、夏休みを含む4ヶ月間、厳しい暑さの中で音を磨いてきました。演奏曲「天と地の祈り」は長崎の高校の委嘱作品で、平和記念像をモチーフにしたものです。私たちは技術向上に努めると同時にイメージを語り合い、音楽に命を吹き込んでいました。目標の金賞にはあと一步届きませんでしたが、それ以上に価値ある演奏を創り上げられたと感じています。演奏を終えた仲間の笑顔は真夏の太陽のようにまぶしく、今も忘れる事はありません。（写真：3年生が集合！）

最後になりましたが、試奏会や楽器運搬にご尽力いただいた先生方や主事さん、応援してくださったみなさんに心より感謝申し上げます。合唱コンクールでもみなさんの期待に応えられるよう精一杯練習を重ねますのでご期待ください。



2年生職場体験 (9月24日から26日まで 3日間の体験のご報告) 担当: 中溝 亜矢実

職場体験の目的は、働くことの意義や楽しさ、厳しさ等を実感することを通じ、日ごろの学習の目的やコミュニケーション能力の必要性を学ぶことにあります。様子を見に訪ねると、どの事業所でも真剣な眼差しで目の前の仕事に黙々と取り組んでいる様子が見られました。疲れて帰ってくる生徒もいたのではないか。この3日間の学びを支えていただきました、各ご家庭のご理解とサポートに感謝申し上げます。ありがとうございました。



本企画にご協力をいただきました近隣の事業所様

バオバブ保育園様、喜多見野の花保育園様、喜多見小学校様、喜多見まちづくりセンター様
社会福祉法人古木会成城ケアセンター様、成城消防署様、スター・バックスコーヒー成城店様、サミットストア喜多見駅前店様
サミットストア成城店様、ティップスネス喜多見店様、喜多見中リブネット様・アスク様
狛江大久保商事サービスステーション様、たぐちフーズ様、ひなたの森保育園様、東京農業大学様
世田谷美術館様、しまむら狛江店様、PROTOREAF様、さくら庭園様、DOGS & CATS JOKER 二子玉川店様
味の民芸世田谷砧店様、洋菓子ヴォアラ様、大蔵木材工芸様、鎌田図書館様、シュクレペール様
JA 東京中央ファーマーズマーケット二子玉川様、岩井園芸様、慶元寺幼稚園様、次大夫堀公園民家園様
永井農園様、マクドナルド狛江店様、フレンドキッズランドこまえ園様、小梅保育園様、狛江みずほ幼稚園様
こまえ苑様、tomod's 狛江様

ご協力をいただきました事業所の皆様に心より感謝申し上げます

台風時の対応について（確認のお願い）

今年も既に複数の台風が発生しています。最近はひとたび台風が発生するとその勢力は非常に強く、甚大な被害をもたらす傾向にあります。有事の際は、学校ホームページのほか、緊急一斉メール『すぐーる』等で情報を発信します。各ご家庭においても、以下について再度ご確認をお願いします。

- 1 世田谷区（23区西部）に「暴風警報」（含む「暴風雪警報」）が発令された場合、当日の午前6時までに解除された場合は平常授業です。（**午前6時までに解除がない場合は、臨時休校です。**）
- 2 緊急一斉メールを確認ください。（機種変更して未登録であったり、一斉メールを未読のままにしていたりしたことが原因で、情報が届かないケースが散見されています。改めて登録に必要なマニュアルの必要な場合は担任までお申し出ください。）
- 3 状況によっては、始業時刻の繰り下げをする場合があります。こうした事態においては、定められた時刻に遅れて登校をしても「遅刻」の扱いは原則いたしません。お子様の安全を最優先ください。

10月の予定から

- 10月2日（木）区陸上競技大会（代表36名出場！）※3日（金）予備日
※出場予定者は、2日および3日ともお弁当を準備ください。
- 3日（金）英語検定（小中計：91名が挑戦！）
- 6日（月）全校朝礼（8:25集合！）
- 15日（水）3年生修学旅行（～17日まで 2泊3日 京都・奈良方面）
- 23日（木）学習習得確認調査（3年生）
- 24日（金）漢字検定
- 25日（土）**合唱コンクール**♪
※15時00分終了予定 お弁当持参です！
- 27日（月）振替休日
- 28日（火）3年生進路面談（～11/4日まで）※期末考査範囲発表

10月25日（土）合唱コンクールについて♪

今年度の合唱コンクールもフルボリュームにて実施予定です。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様のご来校をお待ちしています。つきましては、「学年ごとの入れ替え」についてもご協力をお願いします。吹奏楽部の素晴らしい発表もお楽しみに！！

10月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13 スポーツの日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25 合唱
26	27 振休	28	29	30	31	1

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

【相談室直通】 03-3417-5372

悩み事は言葉にすると整理できることも少なくありません。ご相談をお待ちしています！